



3・11後の 日本のエネルギー政策と 水素エネルギーの 展望

IH2

内田裕久氏講演 2月20日(土) 13:00

■会場 新潟国際情報大学 新潟中央キャンパス9F
(新潟市中央区上大川前通7番町1169)

■参加費(資料代) 500円 / 学生無料

今回のOratteアカデミーは「水素エネルギー」研究の第一人者、内田裕久先生をお招きします!!
水素エネルギーは再生可能エネルギーと共に大きな期待を集めており、2015年は「水素社会元年」とも謳われました。その実用化と普及に向けた動きについてお話を伺います。



■内田裕久(うちだ ひろひさ) 東海大学工学部原子力工学科特任教授
株式会社ケイエスピー(KSP)代表取締役社長
国際水素エネルギー協会(IAHE)フェロー・副会長

1975年マックスプランク金属材料研究所研究員として金属と水素の相互作用研究に従事。1981年より東海大学勤務。約40年にわたり水素と材料を研究し、2014年にはIAHEから日本人初となるフェローの称号を受ける。再生可能エネルギーの水素による貯蔵、水素エネルギーの農水産業への応用を研究している。